

## 「国営滝野すずらん丘陵公園」 全園開園



### 国営滝野すずらん丘陵公園



平面図（赤枠が今回オープンした滝野の森ゾーン（西エリア））





北海道開発局  
札幌開発建設部  
国営滝野すずらん  
丘陵公園事務所  
工務課長

**櫻庭 満** さん



SPAC  
滝野管理センター  
広報・行催事担当係員

**漁野 千穂** さん



森の情報館



森の観察デッキ

## 滝野の森ゾーン(西エリア)が 新たにオープン

札幌市内中心部から約20km、車で約30分という市街地近郊の場所にありながらも緑豊かで、季節ごとに美しい花々が咲く都市公園、札幌市南区の「国営滝野すずらん丘陵公園」には、年間60万人あまりが訪れています。すでに多くの利用がありますが、2010年（平成22年）5月22日に滝野の森ゾーン（西エリア）がオープンし、全園開園となりました。総面積395.7ha、東西・南北に約2kmにわたる広い敷地内で、これまで溪流ゾーン、中心ゾーン、宿泊ゾーン及び滝野の森ゾーン（東エリア）が順次オープンしてきました。今回オープンした西エリアは「森や沢、湿地での、美しい草花の鑑賞や多様な生きものとの触れあいを通じて、自然と人とのかかわりを体験するゾーン」がコンセプトになっており、実際に足を運んでみると、ここもまた190万人が暮らす同じ札幌なのだろうか、戸惑いを覚えるほど。自然が身近に感じられ、ほっと心とむ空間になっています。

滝野地区の歴史をひもとくと、一度開拓のため人が入っています。このエリアでは、人の営みの痕跡が残るフィールドを巡りながら、営農当時の環境から人手が離れた遷移過程の環境まで、二次的な自然の多様性

や豊かさを感じることによって“北国の自然と人との共生”について考えていただけたらと思います。

西エリアのスタート地点、情報拠点とも言える「森の情報館」では滝野の森のなりたちや動植物について小さなお子様でも楽しんで学ぶことができます。また、ここから「森の観察デッキ」までは高齢者でも利用しやすいようバリアフリーを採用しています。

西エリアの特徴的な施設である「森の観察デッキ」は高さ約5m、幅2.2m、長さ130mになります。この細長い、くねくねと曲がったデッキの上を歩くことで利用者の視線が高くなり、例えばつる性の植物が木を這い上がり、地面を歩いているのは見えないような高い場所できれいな花をつけている様子も確認できます。足もとの草花を眺める楽しさもありますが、下から見上げるのとはまた違った森の見方ができると来園者に好評です。ヤチダモやハルニレといった河畔林の幹を縫うように歩くことができ、運が良ければ樹上でエサ



を探すキツツキやエゾリスを発見することもあるようです。緑のシーズンは青々とした葉の力強い生命観を感じ、秋になれば紅葉が目の前に広がります。また蛇行して流れる野牛沢川のおだやかな流れを眼下に見ることもできます。虫も、鳥も、動物も、そして植物の命をも育む森の素晴らしさに改めて感動を覚えることでしょう。

## 清流や起伏ある谷に 季節の彩り

西エリアは3つのエリアに大別されています。

「野と水辺エリア」では、突如として山の中に水田が出現します。かつてこの辺りに住んでいた入植者が水田を作っていたという経緯があり、それを復元した水田のほか、ため池や草地など、人とのかかわりによって維持されてきた二次的自然の風景や、そこに生息するカエルやトンボなどの動植物を観察することができます。



「野と水辺エリア」の水田



「花の水辺エリア」のシラネアオイ (5月)



「花の溪流エリア」のミヤマエンレイソウ (5月)

「花の水辺エリア」では野牛沢川のさやさやと流れるせせらぎや、大木の河畔林が織りなす変化のある風景が見られます。春になると、薄紫色の大振りな花(実際はがく片です)を見せるシラネアオイによってより美しさを増します。

傾斜面と一体となった溪流景観が特色の「花の溪流エリア」では、北国の春を告げる花の一つであるミヤマエンレイソウが、5月頃に可愛らしい白い花をつけます。

長い冬を越した北海道では、雪解けを待って、このような山野草の花々が季節の変わり目を伝えます。もちろん、花のある春だけでなく、季節が巡るその時期だけしか見せない表情に切り替わり、足を運ぶたびに新鮮な驚きがありそうです。

## 森への理解が深まる 滝野の森のガイドツアー

平成22年現在西エリアでは、「滝野の森クラブ」のガイドボランティアとともに森を歩く「滝野の森のガイドツアー」が企画されております。子供から年配者まで、森の魅力や不思議に触れ、理解を深めることができ、ただ自分たちだけで見て歩くよりもぐっと楽しさが増します。

花や樹木の名前や見ごろだけではなく、なぜそのような形なのかといった生物の特徴までをわかりやすく案内してくれます。さらに一緒に見たい花や昆虫を探したり、滝野の歴史を解説してくれることから、すでにリピーターになっている利用者が数多くいます。

何度訪れても興味の尽きることはなく、そこがまた自然の奥深さなのでしょう。グリーンシーズン中は何





「滝野の森のガイドツアー」の様子

度でも駐車場を利用できる、駐車場グリーンシーズンパスポートも発行されています。

また西エリアを始め、園内では今年から「ノルディックウォーキング」のポールの貸出を始めました。ポールを使って歩くことで有酸素運動ができるこのウォーキングを滝野公園は推進しており、初心者向けの無料講習会も定期的を開催しています。西エリアでは自然散策をしながらノルディックウォーキングで健康増進をはかることもでき、最近ではポールを持ったお客様も多く見られるようになりました。

公園の東側にある「カントリーガーデン」には、ゆるやかな丘陵に見ごたえのある花畑をお楽しみいただけます。春のチューリップにはじまり、夏はラベンダーの香りが風に運ばれ、秋にはピンク色のコスモスが一齐に花をつけます。

今回西エリアが開園したことで、それらに新たな魅力が加わったといえそうです。



ノコギリクワガタ (7月)



ヤマシャクヤクの実と種子 (9月)



「ノルディックウォーキング講習会」の様子

## 国営滝野すずらん丘陵公園 オフィシャルサイト

パソコン用

滝野すずらん

検索

<http://www.takinopark.com/>

ケータイ用



ポールを使った自然散策の様子